

街路整備事業 公共事業評価 内町迎田線（再々評価）説明資料

まちづくり推進課

1

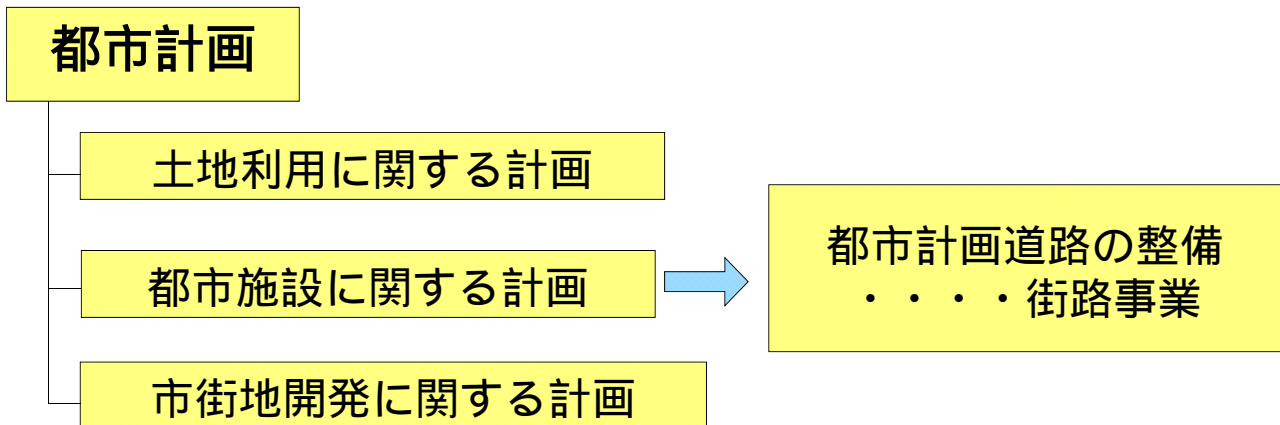
平成26年度公共事業再評価諮問地区一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度	進捗率 (H20) (H25)	対応方針
1	街路整備事業	内町迎田線	H11～H27	(H20:34.0%) (H25:75.0%)	継続

2

【街路事業とは？】

街路事業とは、計画的なまちづくりを行うために定められた、都市計画に関する事業の一つです。



3

【街路の機能】

交通処理、沿道利用としての機能



4

【街路の機能】

居住環境を形成する機能
通風、採光等、緑化
オープンスペース、まちなみ



その他にも...

- ・ 避難路、緊急輸送路、災害遮断等の都市防災機能
- ・ 電気、電話、上下水道、ガス等の公共施設の収容
- ・ 街区の形成、市街化の誘導

等の様々な機能があります。

5

【街路事業の目的】

- ・ 都市における円滑な交通確保
- ・ 豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成

安全で快適な都市の実現



鹿島駅城内線
(スカイロード商店街)

街路整備事業のB/Cの考え方

便益（B）について

街路の供用開始から50年間で生じる次の便益を合計して算出します。

走行時間短縮

整備ありの場合の総走行時間費用から、整備なしの場合の総走行時間費用を減じた差に時間価値原単位を乗じて集計して算出。

走行経費減少（走行条件が改善されることによる費用の低下）

整備ありの場合の走行経費から、整備なしの場合の走行経費を減じた差として算出。

（燃料費、油脂費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費等）

交通事故減少

整備ありの場合の交通事故による社会的損失から、整備なしの場合の交通事故による社会的損失を減じた差として算出。

（人的損害額、物的損害額、事故渋滞による損失額）

7

街路整備事業のB/Cの考え方

費用（C）について

次の便益を合計して算出します。

整備に要する費用

工事費、用地費、補償費、間接経費等を対象として算出。

整備後50年間の維持管理費

道路構造物の点検補修費用、巡回・清掃等の費用、除雪等の費用等を対象として算出。

8

【内町迎田線の位置図】



【事業の概要】

路線名	: 内町迎田線
道路延長	: L = 235m W = 20.0m
全体事業費	: 約504百万円
事業期間	: H12 ~ H27年
関連事業	: 武雄北部土地区画整理事業 (H10 ~ H30 武雄市施行) JR佐世保線武雄温泉駅付近連続立体交差事業 (H9 ~ H21 県施行) 甘久武雄線街路整備交付金事業 (H21 ~ H27 県施行)

【事業の目的】

本路線は、武雄市中心市街地を南北に結ぶ重要な幹線街路であり、温泉街・商店街を観光客や地元住民が行き交う道路である。

しかし、歩道が未整備であり、自転車・歩行者の交通安全確保は喫緊の課題である。

このため、JR佐世保線武雄温泉駅付近連続立体交差事業及び武雄北部土地区画整理事業に合わせ、当区間の街路整備を実施することで、自転車歩行者の交通安全及び、円滑な交通を確保するものである。

費用便益分析結果

【便益 (B)】

走行時間短縮便益 = 6.84億円

走行経費減少便益 = 0.77億円

交通事故減少便益 = 0.32億円

合計 = 7.93億円

【費用 (C)】

事業費 = 5.44億円

維持管理費 = 0.22億円

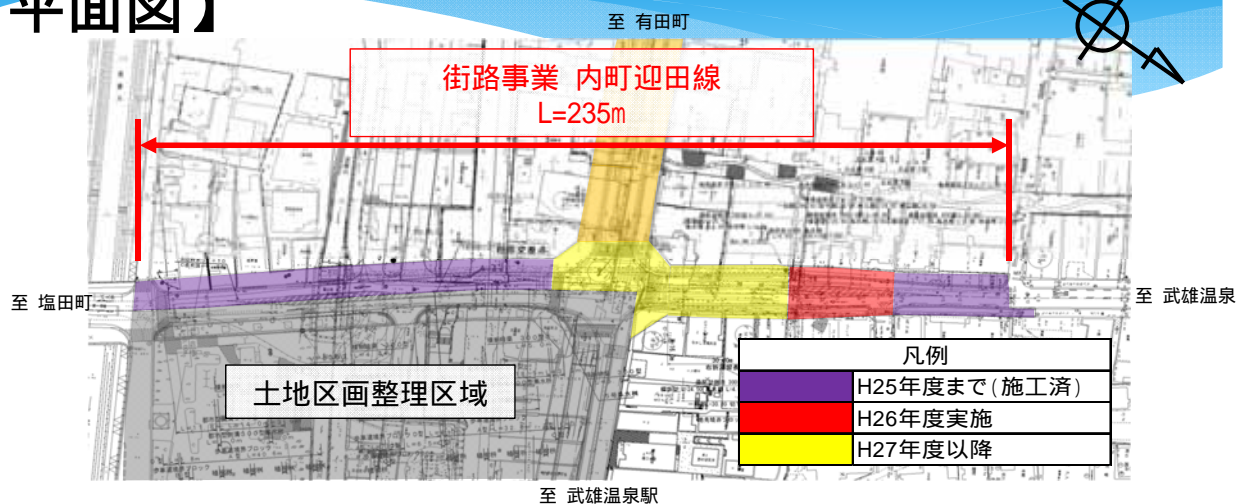
合計 = 5.66億円

【費用便益 (B / C)】

7.93億円 / 5.66億円 = **1.402**

11

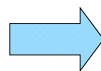
【平面図】



整備前



歩道設置



整備後



12

【未整備区間の状況写真】

交差点より終点方向を望む

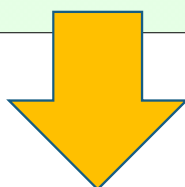


終点側より起点方向を望む



【継続の必要性】

現時点では、交差点を含む区間が未整備であり、円滑で安全な交通を確保するためには、連続立体交差事業及び土地区画整理事業と合わせた整備を推進し、相乗的効果の発現を図る必要がある。



事業を継続し早期完成を図りたい